

2008 年度

科目名 体育（バドミントン・講義を含む）	対象学科・学年 薬学部薬学1回生	担当者 志水 正俊																
授業テーマ 個人スポーツの基礎技術のルール・マナーの習得と生涯スポーツへの展開																		
授業の概要と目標 スポーツをする事は、心身のストレスや運動不足の解消に効果があり、体力や健康の維持・増進に役立つと考えられている。 またスポーツの良さは、多くの仲間と身体を動かして楽しむことにあると言える。 体力のピークを迎える19歳から日常生活での運動量は極端に減少するこの時期にこそ運動の継続が必要となるものである。 生涯スポーツとしても楽しめる運動の実践を展開する。																		
評価方法 ① 出席日数・受講態度 (70 点) ② 実技 (30 点) ①+②=100 点																		
テキスト	著者	出版社																
参考書	著者	出版社																
授業スケジュール・内容 <table border="0"> <tr> <td>① バドミントンの歴史などの概要</td> <td>第1限 ～ 3 限</td> </tr> <tr> <td>② 用具の使用方法と名称</td> <td>第1限 ～ 3 限</td> </tr> <tr> <td>③ 基本技術（グリップの名称など）</td> <td>第1限 ～ 3 限</td> </tr> <tr> <td>④ 基本技術と応用（ストローク・サービスなど）</td> <td>第1限 ～ 3 限</td> </tr> <tr> <td>⑤ ルール説明</td> <td>第3限 ～ 4 限</td> </tr> <tr> <td>⑥ 審判方法の説明</td> <td>第3限 ～ 4 限</td> </tr> <tr> <td>⑦ 試合形式によるゲーム（シングルス・ダブルス）</td> <td>第5限 ～ 14 限</td> </tr> <tr> <td>⑧ 評 価</td> <td>第14限 ～ 15 限</td> </tr> </table>			① バドミントンの歴史などの概要	第1限 ～ 3 限	② 用具の使用方法と名称	第1限 ～ 3 限	③ 基本技術（グリップの名称など）	第1限 ～ 3 限	④ 基本技術と応用（ストローク・サービスなど）	第1限 ～ 3 限	⑤ ルール説明	第3限 ～ 4 限	⑥ 審判方法の説明	第3限 ～ 4 限	⑦ 試合形式によるゲーム（シングルス・ダブルス）	第5限 ～ 14 限	⑧ 評 価	第14限 ～ 15 限
① バドミントンの歴史などの概要	第1限 ～ 3 限																	
② 用具の使用方法と名称	第1限 ～ 3 限																	
③ 基本技術（グリップの名称など）	第1限 ～ 3 限																	
④ 基本技術と応用（ストローク・サービスなど）	第1限 ～ 3 限																	
⑤ ルール説明	第3限 ～ 4 限																	
⑥ 審判方法の説明	第3限 ～ 4 限																	
⑦ 試合形式によるゲーム（シングルス・ダブルス）	第5限 ～ 14 限																	
⑧ 評 価	第14限 ～ 15 限																	